

1 次の計算をしなさい。(各3点)

① $6 - (-7) = \underline{13}$

② $6 - (-2)^2 \div \frac{4}{9} = 6 - 4 \times \frac{9}{4} = 6 - 9 = \underline{-3}$

③ $3(a - b) - (-2a + 4b) = 3a - 3b + 2a - 4b = \underline{5a - 7b}$

④ $\frac{2x-y}{2} - \frac{3x+2y}{3} = \frac{6x-3y}{6} - \frac{6x+4y}{6} = \underline{-\frac{7y}{6}}$

⑤ $\sqrt{45} - \frac{20}{\sqrt{5}} = 3\sqrt{5} - 4\sqrt{5} = \underline{-\sqrt{5}}$

2 次の問いに答えなさい。(各4点)

① y は x の 2 乗に比例し、 $x = -3$ のとき、 $y = 3$ である。 $x = -6$ のときの y の値を求めなさい。

$y = ax^2$ $3 = 9a$ $y = \frac{1}{3}x^2$
 $3 = a \times (-3)^2$ $a = \frac{1}{3}$ $y = \frac{1}{3} \times 36 = \underline{12}$

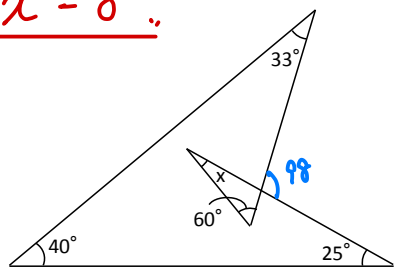
② n を正の整数とする。 $\sqrt{45n}$ が整数となる n の値のうち、もっとも小さい n の値を求めなさい。

$\sqrt{3^2 \times 5 \times n}$ $\underline{n = 5}$

③ 比例式 $2:5 = (x-2):(x+7)$ をみたす x の値を求めなさい。

$5x - 10 = 2x + 14$
 $3x = 24$ $\underline{x = 8}$

④ 右の図の $\angle x$ の値を求めなさい。



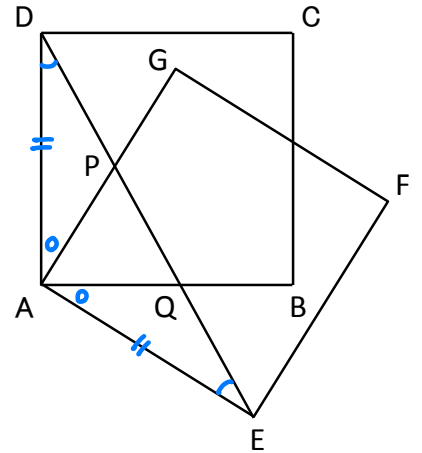
$\underline{22^\circ}$

⑤ 2 つの 2 元 1 次方程式を組み合わせ、 $x = 3$, $y = -2$ が解となる連立方程式をつくる。このとき、組み合わせる 2 元 1 次方程式はどれとどれか。次のア～エから 2 つ選び、その記号を書きなさい。

- ア $x + y = -1$ イ $2x - y = 8$
- ウ $3x - 2y = 5$ エ $x + 3y = -3$

$\underline{\text{イ, イ}}$

- 3 図で、正方形 AEFG は、正方形 ABCD を、頂点 A を回転の中心として、時計の針の回転と同じ向きに回転移動させたものである。また、P、Q はそれぞれ線分 DE と辺 AG、AB との交点である。このとき、 $AP=AQ$ となることを次のように証明したい。I、II に当てはまる最も適当なものを、次のア～カまでの中からそれぞれ選んで、そのかな符号を書きなさい。また、a に当てはまる数を書きなさい。ただし、回転する角度は 90° より小さいものとする。なお、2 か所の a には同じ数字が当てはまる。(各 3 点)



(証明) $\triangle ADP$ と $\triangle AEQ$ で、AD と AE は同じ大きさの正方形なので、

$$AD=AE \quad \dots \textcircled{1}$$

$$\textcircled{1} \text{ から、} \triangle AED \text{ は二等辺三角形なので、} \angle ADP = \boxed{\text{II}} \quad \dots \textcircled{2}$$

また、

$$\angle PAD = \boxed{a} 90^\circ - \angle PAQ,$$

$$\angle QAE = \boxed{a} 90^\circ - \angle PAQ \text{ より、}$$

$$\angle PAD = \angle QAE \quad \dots \textcircled{3}$$

$$\textcircled{1}, \textcircled{2}, \textcircled{3} \text{ から、} \boxed{\text{II}} \text{ ので、} \triangle ADP \equiv \triangle AEQ$$

よって、 $AP=AQ$

- ア. $\angle AQE$ イ. $\angle AEQ$ ウ. $\angle EAQ$
 エ. 1 組の辺とその両端の角が、それぞれ等しい
 オ. 2 組の辺とその間の角が、それぞれ等しい
 カ. 2 組の角がそれぞれ等しい

- 4 右のグラフは関数 $y=x^2$ で、点 A、B、C の座標はそれぞれ $(-3, 9)$ 、 $(-2, 4)$ 、 $(1, 1)$ である。また、四角形 ABCD が平行四辺形となるように y 軸上に点 D をとる。このとき、次の問いに答えなさい。

- ① 点 D の座標を求めなさい。(3 点)

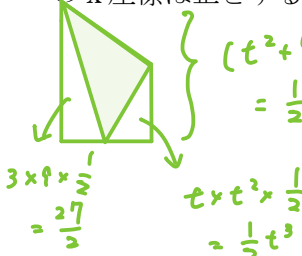
$$(0, 6)$$

- ② 平行四辺形 ABCD の面積を求めなさい。(4 点)

- ③ 点 $(3, 3)$ を通り、平行四辺形 ABCD の面積を 2 等分する直線の式を求めなさい。(4 点)

$$y = -\frac{1}{2}x + \frac{9}{2}$$

- ④ 点 P を関数 $y=x^2$ のグラフ上にとる。 $\triangle OBC$ の面積と $\triangle OAP$ の面積の比が、 $1:5$ となる時の点 P の座標を求めなさい。ただし、点 P の x 座標は正とする。(5 点)



$$\begin{aligned} & (t^2+9)(t+3) \times \frac{1}{2} \\ & = \frac{1}{2}t^3 + \frac{3}{2}t^2 + \frac{9}{2}t + \frac{27}{2} \end{aligned}$$

$$\text{よって } \frac{1}{2}t^3 + \frac{3}{2}t^2 + \frac{9}{2}t + \frac{27}{2} - \frac{1}{2}t^3 - \frac{27}{2} = 15$$

$$\begin{aligned} \frac{3}{2}t^2 + \frac{9}{2}t &= 15 & (t+5)(t-2) \\ t^2 + 3t - 10 &= 0 & t = -5, 2 \end{aligned}$$

$$(2, 4)$$

